

■秋期実施：共通 英語

I. 次の英文を読み、問いに日本語で解答しなさい。

- 問1 英文 A は emotional development に関するハンドブックの一部である。下線部 (a) を和訳しなさい。  
 問2 英文 B は、英文 A の 5 行目に記された引用論文の抜粋である。この論文は乳児期からの縦断研究で、12 ヶ月時に infant-mother attachment が測定され、6 歳と 11 歳時点での分析となる。英文 B の Method, Emotion judgment task の下線部 (b) を和訳しなさい。  
 問3 Results の下線部 (c) を和訳しなさい。  
 問4 英文 B の Results における Table 3 に示された分析結果を説明しなさい。

英文 A  
 (出典) Leerkes, E. M. & Bates, L. G. (2019). Emotional development within the family context. In V. LohBue, K. Perez-Edgar, & K. A. Buss (Eds.) *Handbook of emotional development*. Springer Nature Switzerland AG. Pp.627-661.

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

英文 B  
 (出典) Steele, H., Steel, M., & Croft, C. (2006). Early attachment predicts emotion recognition at 6 and 11 years old. *Attachment & Human Development*, 10, 379-393.

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

II. 次の英文を読み、問いに数字および日本語で答えよ。小数が発生する場合は、小数第 3 位を四捨五入して、小数第 2 位まで書くこと。

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

- (問1) 文中の「ア」から「キ」に入る数字を、Table 1 内にそれぞれ答えよ。  
 (問2) 文中の下線部 (1) に入る数字を答えよ。  
 (問3) この統計的検定における、帰無仮説を述べよ。  
 (問4) この統計的検定における、検定結果を述べよ。その際、次の  $\chi^2$  分布表を使うこと。

$\chi^2$  分布表

自由度	有意確率 0.05
1	3.84
2	5.99
3	7.81
4	9.49
5	11.07

(出典) Aron, A., & Aron, E. N. (2003). *Statistics for psychology Third edition*. New Jersey: Prentice Hall.

■秋期実施：共通 専門に関する論文 (基礎)

I. 以下の各用語について完結明瞭に説明せよ。

- 問1 剰余変数  
 問2  $\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) の機能  
 問3 注意の後期選択説  
 問4 般化勾配  
 問5 マーの円筒モデル  
 問6 思考抑制のリバウンド効果  
 問7 コホート  
 問8 因子分析  
 問9 パーソナリティ障害  
 問10 アサーション・トレーニング

■秋期実施：心理学 専門に関する論文

II. 代表的な感情理論を 1 つ取り上げてその理論を解説するとともに、その理論に対する批判やそれを受けて新たに提出された感情理論について論述して下さい。

III. 以下の架空の研究例を読み、それをふまえて問いに答えよ。

研究例：モニタ上に刺激 (アスタリスク) が提示されればできるだけ早くキーボードのスペースキーを押すという課題を実験室で実施した。実験室への入室時に当日の起床時刻を報告してもらった。起床時刻から実験室入室時までの経過時間を算出してその中央値で実験参加者を 2 つのグループに分けたところ、経過時間の短い半数の平均反応時間 (0.15 秒) は経過時間の長い半数の平均反応時間 (0.10 秒) よりも長かった。このような差が生じた理由に関する仮説を考え、その仮説を検証する実験計画を立案して解説せよ。その際、必ず以下の要素を含むこと。  
 ・実験デザインの説明には表を用いること  
 ・予測される結果の説明にはグラフや表を用いること

■秋期実施：臨床心理学 専門に関する論文

II. 職場のストレスが作業効率に与える影響を検証したい。「実験法」「調査法」「事例研究法」より 2 つを選び、それぞれの研究方法を用いた研究デザインを立案しなさい。また、その方法によって得られた結果を読み取る際の留意点を述べなさい。解答は、選択した研究方法ごとに記すこと。

III. 心理教育とは何か説明せよ。また、心理的支援を要する疾患、症状を 2 つ取り上げ、それぞれについて支援のためにどのような内容を備えた心理教育プログラムを立案するか具体的に述べなさい。対象や回数、自由設定して構わない。

## ●春期実施：共通 英語

I. 次の英文を読み、問いに日本語で解答しなさい。

- 問1 英文Aはmoral developmentに関するハンドブックの一部である。下線部(1)の部分を和訳しなさい。  
 問2 英文Bは、英文Aの5行目に記された引用論文の抜粋である。1行目にあるように本研究では下線(2)を付したthree principlesについて検討している。それらのprinciplesを和訳しなさい。  
 問3 英文BのMethod中、下線(3)を付したEvanについて記述した文を和訳しなさい。  
 問4 英文BのJudgmentsに関する結果について説明しなさい。

英文A

〔出典〕 Smetana, J.D., Jambon, M., & Ball, C. (2014). The social domain approach to children's moral and social judgements. In M. Killen & J. G. Smetana, (Eds.) *Handbook of moral development*. NY: Psychology Press. Pp.23-45.

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

英文B

〔出典〕 Cushman, F., Young, L., & Hauser, M. (2006). The role of conscious reasoning and intuition in moral judgment: Testing three principles of harm. *Psychological Science*, 17, 1082-1089.

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

II. 次の英文を読み、問いに数字および日本語で答えよ。小数が発生する場合は、小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで書くこと。

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております。)

(問1) 文中の下線部(A)に入る数字を答えよ。

(問2) 文中の「ア」から「カ」に入る数字を、Table 2内にそれぞれ答えよ。

(問3) 計算過程とともに、 $\chi^2$ 値を答えよ。

(問4) この統計的検定における、帰無仮説を述べよ。

(問5) この統計的検定における、検定結果を述べよ。その際、次の $\chi^2$ 分布表を用えよ。

自由度	有意確率 0.05
1	3.84
2	5.99
3	7.81
4	9.49
5	11.07
6	12.59

〔出典〕

Aron, A., & Aron, E. N. (2003). *Statistics for psychology*, Third edition. New Jersey: Prentice Hall.

## ●春期実施：共通 専門に関する論文（基礎）

I. 以下の各用語について完結明瞭に説明せよ。

- 問1 知覚の恒常性  
 問2 サーカディアン・リズム  
 問3 マグニチュード推定法  
 問4 ウェイソンの4枚カード問題  
 問5 フロー状態  
 問6 選択注視法  
 問7 マズローの欲求階層論  
 問8 DSM  
 問9 フォーカシング  
 問10 アレキシサイミア

## ●春期実施：心理学 専門に関する論文

II. ストレスに関する代表的な理論を1つ取り上げてその理論について解説するとともに、批判的にその理論の問題点などを指摘してください。

III. 以下の架空の研究例を読み、それをふまえて問いに答えよ。

研究例：食べ物の写真100枚をモニタ上に1枚ずつ提示し、それぞれの写真を見て感じた食欲を100点満点で評定した。予備実験では好まれる写真であることを確認してあった。写真の提示順序は実験参加者ごとに無作為に変化させた。食べ物の写真を提示した順番にしたがって、25枚ずつの4つのブロック（①1～25枚目、②26～50枚目、③51～75枚目、④76～100枚目）に切り替えてデータを整理した。その結果、食欲の平均値は①では80点、②では65点、③では55点、④では50点となり、提示順序のブロックが後になるほど点数が低下していた。このような変化が生じた理由に関する仮説を2つ以上考え、それらの仮説の優劣を検証する実験計画を立案して解説せよ。なお、実験デザインの説明に必ず表を用いること。

## ●春期実施：臨床心理学 専門に関する論文

II. 事例研究の意義、問題点について述べよ。また、問題点を補う工夫としてどのような方法があるか述べなさい。

III. 日本発祥の治療法として知られる「森田療法」「内観療法」「臨床動作法」「絶食療法」について、以下の問いに答えなさい。

(1) 上記の治療法より2つを選び、それぞれについて知るところを述べなさい。

解答は、選択した治療法ごとに記すこと。

(2) 日本発祥の治療法は、今後の心理臨床においてどのように活かされるだろうか。あなたの考えを述べなさい。